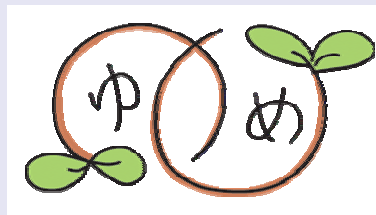


ゆめ通信



地域づくり考房『ゆめ』は、大学で学んだ知識や技術を学生が地域づくりの中で実践的に生かしていくことを目指しています。

“ゆめ”の由来…<sup>ゆめ</sup>結芽<sup>ゆめ</sup>「ニーズの芽を結ぶ場所」+<sup>ゆめ</sup>夢+<sup>ゆめ</sup>遊眼「遊び心の視点を持つ眼」



松本大学



セミナー「自分の価値観を知る」  
(2006.4.20)

“生活必需品大学”づくりの拠点

松本大学地域づくり考房『ゆめ』センター長・松本大学学長 中野 和朗

松本大学は、“幸せづくり大学”を名乗り、「幸せな地域社会づくりへの貢献」を志として大学一丸となって奮励努力しています。ところで、食べ物、電気・ガス・水道さらには今日ではクルマ、ケイタイ、テレビといった物も含めて私達の毎日の生活に欠かすことの出来ない物を「生活必需品」と呼んでいます。こういう物が無くなると私達は途端に毎日の生活に窮してしまいます。実は、松本大学は地域にとってこんな大学になればいいなあと夢見ているのです。もともと、松本大学は、地域全域をキャンパスと見なし、地域の人々すべてが“共育”の仲間だと考えていますが、それが制度化されたのが「アウトキャンパス・スタディ」であり「サポーターシステム」です。これも含めて、松本大学が、地域に頼りにされ、喜ばれ、感謝される存在となるために、さまざまなやり方が考えられますが、「地域づくり考房『ゆめ』」こそ、地域にとっての“生活必需品大学”づくりの拠点なのです。このような意識をもって18年度の活動を進めてゆきたいと思えます。

Topics

ゆめカフェオープン！  
～発案者と参加者の声～

CD制作

プロジェクト活動紹介

記録集・マップの紹介

インフォメーション

～考房内外各種イベント  
やスタッフ募集のお知らせ～

松本探訪

編集後記

## ゆめカフェ オープン！！

地域づくり考房『ゆめ』が行っている活動を多くの学生に知ってもらい、身近に感じ気軽に訪れて欲しいとの願いから、4月11日・13日・20日の3日間、学生スタッフ初企画による「ゆめカフェ」をオープンしました。活動中の先輩学生や同じ想いの学生の交流の場であり、仲間づくりの場ともなりました。この企画を通して多くの学生が活動にかかわりはじめています。

### 発案者インタビュー

セミナーを企画した総合経営学部4年水谷通章さんに聞きました。 開催への想い 流れ 感想



私は、大学2年時に初めてボランティアに参加し、それをもとにいろいろな活動をしてきました。様々な社会人にも会いました。そういった事で自分は成長できたのかと思います。ですので、今年入ってくる1年生も多くの経験を沢山してほしいし、楽しんでほしかったので、就職活動中に学んだことが使えると思い、セミナーを企画しました。自分は、社会人とのコミュニケーションが就職内定率100%を出せたと思っています。

「自分の価値観を知る」というのがメインテーマなので、今までを振り返ってみて、自分はこんな人間で、こんな価値観を持っているんだ、という事を知ってもらおうセミナーにしました。最後に考房『ゆめ』のプロジェクト発表を行い「先輩達は自分の価値観をこんな形で輝かせている」といったことを紹介しました。

「ゆめカフェ」を4回開催しましたが、セミナーを受けに来てくれた学生達は、みんなやる気があると思いました。何を活動してよいかわからない学生が、セミナーを通して「やりたい活動」を見い出せた時は、自分もとてもやりがいを感じ感動しました。初めはセミナーがうまくいか不安でしたが、満足のいく結果で成功に終わったと思います。

## 参加者インタビュー

なぜ考房に来ましたか ゆめカフェの感想、訪れた感想 どんな活動をしてみたいですか 活動した感想

総合経営学部  
観光ホスピタリティ学科1年  
北原 慎也さん



入学式で話を聞き、人とコミュニケーションを取ったり、自分にもできそうな活動があればしてみたいと思いました。活動することに興味があり、もし自分の興味のあることや地域の役に立てるプロジェクトがあれば、ぜひ参加してみようと思いました。

さまざまな活動があり、それぞれが地域のために役に立つことをたくさんしている事が、よくわかりました。とても親切な先輩方がいて、活動内容が参考になりました。

体力には多少自信があるので、体を使った活動をしてみたいです。ベロタクシーを見て、自転車は使い慣れているため、ぜひやってみたいと思いました。地域の方と行動する活動もあり、料理やゴミ拾いなど、役に立てる活動があれば、ぜひ参加してみたいです。

ベロタクシーを始めて、最初はきつかったけれど、乗っているうちに慣れてきました。お客さんを乗せて、松本城内や松本の中を走ると、よりコミュニケーションがとれることを実感しました。特に、多くの観光客は関西から来ている事もわかりました。

短期大学部1年  
原 澄香さん



新入生のオリエンテーションのときの説明を聞いて興味を持ったのがきっかけです。正直、ボランティアには全く興味がなかったのですが、考房の説明も適当に聞いていたのですが、リーダーの人達の堂々とした態度にすごく驚いて、自分も社会に出るうえで、もっと堂々と自分の事や自分のしている活動を話せる人になりたいと思いました。

改めてプロジェクトのリーダーの方々には、自分というものを持っているなあ・・・と感じました。先生もすごくいい人で親切なので、とても安心できました。

災害というものは怖いけど、同時に軽く考えられがちな気がします。いつ起こるかわからないので、少しでも多くの人に関心を持ってもらえたらいいと思います。

とりあえず、ボランティアということ自体初めての体験なので、「自分のためだけでなく、人のために何ができるか」を考えられる人になりたいな・・・と思います。説明会の中で、ひときわ真剣に話していた（感じがした）のが防災マッププロジェクトリーダーの石田さんで、その話を聞いて母の知人に新潟地震で被災した人がいたのを思い出しました。その時、自分にも何かできないかと感じた事を思い出し、防災マッププロジェクトに参加してみたいと思いました。

総合経営学部観光ホスピタリティ学科1年 平田 竜一さん



新入生オリエンテーションで考房の説明を聞いて、その場で思い立って、説明会「ゆめカフェ」に参加することにしました。話を聞いた感じでは、学生が先生に応援されながら一生懸命プロジェクトに取り組んでいるようでしたし、また、ステージで先輩方が堂々と話をされていたので惹かれました。そのときはまだ大学で特に今すぐ始めたいサークルがあるわけでもなく、どうせなら人に貢献できるような活動を試してみるのもいいかなと思いました。

プロジェクトに参加されていた先輩方が仲良さそうにしていたので活動を始めることへの不安を感じることはなかったし、福島先生の働きかけのおかげで、カフェの中で友達が作れたことがうれしかったです。活動するなら活発に動けるものいいかと思い、和太鼓「松風連」に参加しました。松風連のなかで、メンバーとしてなじむことと、まず太鼓をたたけるようになりたいですね。太鼓はほとんど未経験ですので…。その上で自分自身がいい汗を流して、地域の方々と触れ合うことができるようになりたいと思っています。

松風連はまだ一回打ち合わせに参加しただけなので、なんとも言えませんが、活動をするのが少しずつ楽しみになってきています。気合を入れて頑張りたいです。また、ペロタクシードライバーの研修にも参加して、僕もお客さんとして乗せてもらったんですが、そのときの先輩ドライバーの佐々木さんが大学内で見るとは別人のように見えて、かっこよかったです。早くあんなふうになりたいと思っています。

総合経営学部観光ホスピタリティ学科1年 安達 有梨さん



オリエンテーションでゆめカフェについての説明があり、地域の人たちと関わることができるというのが来たきっかけでした。考房に来てみると、さまざまな活動をしていて、やってみたい活動がいくつかありました。考房は空いている時間に来て自由に過ごすことができるので、気軽に立ち寄ることができました。

2号館で少し離れていて入りづらかったけれど、アットホームな感じで良かったです。活動内容は、地域交流というのが中心にたくさんあり、やってみたい、参加してみたいものもいくつかあり、ここに来てよかったと思います。何か新しい発見ができると思いました。

私は、料理のほかに物を作る事が好きなので、まずは料理を通して地域の人達と交流していきたいと思っています。長野県に来てまだ1ヶ月ちょっとなので、知らない事や初めての事ばかりです。地域の人達にいろいろと教えて欲しいなと思っています。また、地域の人達に喜ばれたり、地域が活性化するような楽しい事をやっていきたいです。

はじめて参加した活動は、松本駅西口（巾上）を活性化しようという事で、朝市をやりました。生ワサビの他、新鮮なほうれん草、長ねぎ、手作りのおまんじゅうなどを売りました。初めての試みだったので、どれくらいの人か来るかわからなかったけれど、開店前からたくさんの方が集まり、1時間もしないうちにあっという間に売り切れてしまいました。スムーズに販売ができなかったのが反省点ですが、楽しく、地域の人にもたくさん来てくれたので、良かったと思います。

総合経営学部観光ホスピタリティ学科1年 下澤 裕一さん



私がなぜ考房の方へ参加したかと言うと、地域の方達と共通の目標に向かって活動したいと思ったからです。自分は高校時代なりゆきで執行部の活動に参加させてもらった時に、みんなで協力して何かを作りあげる苦労や喜びを知りました。それを大学でもやって行きたいと思い、考房『ゆめ』へ参加しようと思いました。

先輩達がものすごくかっこいい。自分は先輩達と直接関わっていないのですが、オリエンテーションで自分の活動に誇りをもって堂々と話をしている先輩達をみて、自分もいつかは自分なりの活動を立ち上げて、こうなりたいと思いました。

とりあえず自分が興味を持てる活動には参加していきたいと思っています。今参加している活動の他には、自分の生まれた安曇野市豊科での活動や、憲法第9条に代表される反戦などの活動に参加してみたいです。しかし、軽い気持ちで活動するのではなく、これと決めた活動にマイペースに参加していく予定です。

自分は、巾上西町会と、塩尻市教育委員会が主催している自然教育活動に主に参加しています。自然教育活動に参加して感動した事は、「本来の自然と子供のつきあい方」と言うか、基本的に子供は勝手に遊ばせておいて、大人が作業しているというスタイルです。活動中は親の方もほったらかしで遊ばせてます。その中で、自分なりに考え、遊んだりして自然と触れ合っている子供達を見たり、一緒に遊んだり、普段なかなかできない自然を通じた交流を楽しんで活動しています。

# 松本大学学生と地域連携事業によるCD制作



## 伴奏

今回、軽音楽部へのボランティアの依頼で、コムハウスの曲のレコーディングをさせていただきました。打ち合わせや連絡など多少不備が生まれましたが、レコーディング当日はしっかりとした演奏をすることができたと思います。しかしながら、自分達では演奏面で納得いかない面も多々ありました。軽音楽部はボランティア活動をさらに活性化させていく方針ですので、またこのような機会があれば、自分達はもちろん、ボランティアを依頼していただいた方なども納得できる結果を残していければ幸いです。

松本大学軽音楽部  
山本 星一さん

松本大学の学生と地域との交流の中で生まれていくつかの楽曲を1枚のCDに納め、商品の販売促進や各団体でのイベント等で活用していただく、そして、これを機会にさらなる交流を図ろうとはじまったCD制作。この程収録が終わり、「松本一本ねぎプロジェクト」「むかごちゃんプロジェクト」「新村地区交流プロジェクト」「コムハウス交流プロジェクト」から生まれた7曲を収録しました。学生と地域による歌のコラボレーションです。大学からは、吹奏楽部・軽音楽部・よっちゃんバンド・和太鼓「松風連」が伴奏を行ったほか、作詞・作曲・アレンジ等の分野でも学生と地域との連携が見られました。現在、ジャケットも学生の手作りで進められています。7月には完成し、販売していく予定です。

(文責：福島)

## コーラス

山形村のコミュニティビジネス「むかごちゃんプロジェクト」の作業中に生まれたサークル「むかご〜ず」です。作業は目と手が動いていれば進みます。女性が集まって、静かにしていられないのが『口』。いつの間にか、アカペラでハモってました。デイケアのクリスマス会でステージデビュー。私達自身、歌う事が好きだから楽しんでいるだけなのに聴いていただいてありがとうございます。一緒に活動して下さった学生の皆さんが、りっぱに巣立ち、少々の寂しさもありました。思い出が紙面上だけでなく、この様な形に残せる事、大変嬉しく思います。今年度秋の販促にも活用させていただきます。今春開所しましたコミュニティハウス「建部の里」にて、練習と定期演奏会も行います。何処でも歌いに参りま〜す。よろしく！

むかご〜ず  
相渡 砂由莉さん

## 楽曲づくり

第2コムハウスの曲を作るということで、コムハウスのみんなが歌詞を書き、よっちゃんバンドが曲を作るという、夢のコラボレーションが実現しました。いくつも歌詞を書いてもらい、それぞれの歌詞のイメージに合った曲を作り、何度かデモテープを重ねながらこの世に1曲しかない第2コムハウスの曲が完成しました。部屋にこもり、ギターを弾きながら試行錯誤して作った甲斐もあり、とても素敵な曲に仕上がりました。曲として形になっていく過程が、とても楽しかったです。この曲は勇気と希望と笑顔が詰まった曲です。ぜひご賞味下さい(笑)。

よっちゃんバンド  
上條 義秋さん







こどもパソコン講座参加者募集

内容 松本大学生による夏休みパソコン講座。

1. パソコンの立ち上げ、ゲームでマウスに慣れる
2. オリジナルカレンダーを作ろう

対象 小学校1・2・3年生

日時 8月3日(木)4日(金)7日(月)9:30~12:00

場所 松本大学 パソコン教室

申込締切 7月13日(木)

ふれあい料理教室

内容 松本大学生と一緒に、楽しく料理を作ろう!

対象 小学校1・2・3年生

日時 7月15日(土)8月3日(木)9月9日(土)  
9:30~12:00

場所 新村公民館

参加費 一人1回400円

人数 16人(先着順)

ネイチャリングフェスタ 自然と遊ぼうin松本

内容 松本大学がメイン会場にブースを出します。バンダナの結び方、スイカ割り大会など

対象 子供の相手が好きな学生

日時 7月15日(土)・16日(日)どちらかでも可

場所 松本市内パルコ前 花時計公園

梓川夏祭り参加者募集

内容 梓川商工会青年部企画の夏祭り。音楽活動をしている人たちや踊り連の人たちと一緒に誰でも参加できるイベント

対象 主に音楽活動をしている学生

日時 7月15日(土)17:00頃から

場所 梓川アカデミア館屋外ステージ

若者の選挙への関心啓発啓蒙活動スタッフ募集

内容 知事選での投票立会い、開票事務、投票事務、選挙に対する活動の推進

対象 明るく、希望のもてる郷土、国づくりに意欲のある学生

投票立会人は松本市で投票権のある人に限る

日時 7月21日(土)~8月6日(日)のうち参加できる日

場所 松本市役所、松本市総合体育館、松本駅前 他

備考 選挙スタッフとして参加する場合は、選挙運動はできません

生涯学習ボランティア養成講座 受講者募集

内容 塩尻市の歴史や文化財を語るガイドを養成する。座学と実習の講座を受講後、観光や学校教育の場で活躍していただく

対象 歴史や文化財に興味があり、観光ガイド作りやバリアフリー観光に関心がある学生

日時 6月~9月までの隔週水曜日19:00~21:00

場所 塩尻総合文化センター

2006年新村音楽祭スタッフ・参加者募集

内容 音楽祭の企画、準備、運営、出演、出店等

対象 音楽祭に興味のある学生

日時 5月29日(月)~7月22日(土)の間で随時

場所 新村公民館、松本大学

新村地区市民運動会スタッフ募集

内容 運動会開催のための企画、準備、運営、競技への参加

対象 運動会に興味のある学生

日時 6月29日(木)~9月3日(日)の間で随時

場所 新村公民館、新村農村広場

ACアルテレガータ マネージャー募集

内容 北松本地区で活動している、ジュニアユース(12歳~15歳)を対象としたチームのマネージャー

対象 スポーツが好きな人

日時 毎週水・金17:00~19:00、毎週土・日午前中

参加可能日

場所 本郷小学校、信州大学教育学部附属松本小学校

梓川児童館 小学生の話し相手・遊び相手募集

内容 18年4月オープンの子供の話し相手・遊び相手募集する小学生1年~3年生の話し相手・遊び相手

対象 子供の気持ちがよく理解できる人

日時 月曜日~金曜日の15:00~18:00、また、学校休業日(土曜日・夏休み・冬休み等)の13:00~17:00

場所 梓川児童館

花田養護学校中学部 松本外出スタッフ募集

内容 養護学校中学部の児童と松本駅で待ち合わせ、一日行動を共にする。事前打ち合わせ、顔合わせあり。

対象 養護学校の教職、または福祉関係の仕事に就こうと考えている学生 他

日時 打ち合わせ:8月30日(水)9:00~15:00

当日:9月8日(金)または15日(金)9:30~14:30

場所 花田養護学校(下諏訪町)、松本市内

留学生とユニバーサルデザインマップを作ろう!

内容 松本市街地の小道などの穴場を見つけながら、様々な国の留学生と交流をはかる。歩いたルートは蔵シク館でマップに作成。

対象 留学生と交流したい方、街歩きが好きな方

日時 7月1日(土)10:00~15:00

場所 中町・蔵シク館、松本市街地

備考 昼食付き

## 読者の声

「ゆめ通信」への質問と感想をハガキでいただきましたので、回答と併せてご紹介させていただきます

Q. ゆめ通信はいつぐらいから始めているのですか?

A. 2005年の8月に創刊号を発行しました。

Q. どんな時に発行しているのですか?

A. 年に4回、季刊誌として3月・6月・9月・12月に発行しています。

<感想>ペロタクシーというものが、おもしろい形をしていてよかったです。

- ありがとうございました。

# 地域づくり学生チャレンジ奨励制度

松本大学地域づくり考房『ゆめ』は、本学学生の社会参加への第一歩となり、社会をより良くしていこうとするリーダーシップの芽生えとなる活動を支援します。楽しみながら自らも成長し、地域も活性化し、社会貢献につながる、学生による地域づくりの活動を募集し、選考の上助成を行います。



## 募集要項

### 応募資格

自らの意志によって、社会をより良くしていこうというSpiritとPlanを持ち、それを着実に実行することができる松本大学の大学生個人あるいはグループによる活動を対象とします。

1. 松本大学生が中心となって行う活動
2. 団体の設立主旨や活動内容が特定の政治・宗教・営利の目的に偏っていないこと
3. 他からの助成を受けていないこと
4. アドバイザーとして、専任の教員を依頼すること

### 助成金額

1グループ上限10万円

助成金額の加減については、エントリー用紙に記載された助成金の使用計画から適宜判断します。

7月末に審査会を行い、8月上旬に助成金を支払います。

### 応募期間

2006年6月19日(月)～7月18日(火)

(必着)

### 応募方法

応募用紙のご請求及び申し込みは松本大学地域づくり考房『ゆめ』へ。

詳細は考房『ゆめ』にあるチラシをご覧ください。

### 平成17年度活動報告

および平成18年度申請説明会開催

日時：7月7日(金)16:30～

場所：松本大学515教室

どなたでもご自由にご参加下さい。

## 松本探訪

### ～ペロタクシーから見た街～



ドライバーの手塚さん

ペロタクシーを漕いでお客さんを乗せていると、街で出会った人から「これって自転車なの?」「足で漕いで動くの?へえー、変わった乗り物だね。」とよく言われます。実際に乗っているお客さんにも同じことを言われることもあります。また、松本とは別の都市で見かけた人からは「ほら、あれ愛知万博で走っていたやつだよ。」「京都で走っている自転車だよ。」「東京でも走っている乗り物だよ。」と言われることが多くなりました。

ペロタクシーを停めているとお客さんから「どこまで行ってくれるんですか?」「松本駅まで乗せてもらえるんですか?」と聞かれ、コースを丁寧に説明してから乗ってもらいます。家族連れが多く、「お父さん、子供達と一緒に乗っておいでよ」とか、「これ前から孫が乗りたがっていたんだよ、乗れてよかったね、ちゃん」と孫を連れのおじいちゃん、おばあちゃんもいます。

ペロタクシーがお客さんに馴染んで来た様で、僕は遣り甲斐を感じます。まだまだお客さんに知ってもらおうと松本で僕がペロタクシーを漕いでいることでしょう。

ドライバー：手塚 俊さん(総合経営学部2年)

学生ドライバーが、ペロタクシーを走らせながら見た街並みや街の人々の様子、また利用者さんとのやり取りのなかでの気づきなどを紹介するコーナーです。

\*:.:. :\*::. 編集後記:\*.:. :\*.:. \*

たくさんの新入生を迎え、新しい年度がスタートしました。考房には様々な学生が来室しますが、みんな希望に満ち溢れキラキラしています。それは若さや季節のせいだけではなく、自分の意思で自分の好きな活動に参加している、という充実感と自信が顔に表れているのだと思います。これから夏に向けて更に強く眩しくなってゆく日差しと共に、学生達も、より一層輝きを増してゆくのだと思います。

(中野)

インフォメーションへの問い合わせ「ゆめ通信」へのご意見・質問など、すべて下記へお願い致します。



松本大学 地域づくり考房『ゆめ』

〒390-1295 長野県松本市新村 2095-1

Tel: 0263-48-7213(直通) 0263-48-7200(代表)

Fax: 0263-48-7216

E-mail: community@matsu.ac.jp